

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年8月10日(2017.8.10)

【公表番号】特表2016-529963(P2016-529963A)

【公表日】平成28年9月29日(2016.9.29)

【年通号数】公開・登録公報2016-057

【出願番号】特願2016-528400(P2016-528400)

【国際特許分類】

A 6 1 N 5/06 (2006.01)

H 0 5 B 37/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 N 5/06 Z

H 0 5 B 37/02 D

H 0 5 B 37/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成29年6月29日(2017.6.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第一発光を介して非眼光生物学的刺激を提供するように構成される第一光源と、  
ユーザの環境を照らす第二発光を介してユーザに眼刺激を提供するように構成される第二人工光源であって、第二発光は眼によって知覚される知覚照明環境を引き起こす、第二人工光源と、

前記第一発光から独立して前記第二発光を制御し、前記第二発光の制御に依存して前記第一発光を制御するコントローラとを有し、

前記コントローラが、ユーザの好みを受信し、前記第二発光が前記ユーザの好みに反することを前記コントローラが検出する場合、前記第二発光により提供される前記眼刺激の前記ユーザに対する影響に反作用するよう、前記コントローラは、前記ユーザの好みに基づき、前記第一発光を制御する、システム。

【請求項2】

前記システムが前記第二光源からの前記第二発光を感知するように構成される光センサを有し、前記コントローラが前記光センサによって感知される前記第二発光に依存して前記第一発光を制御するように構成される、請求項1に記載のシステム。

【請求項3】

前記コントローラが前記第二発光との調整に加えて前記ユーザの概日リズムに従って前記第一発光を提供するように構成される、請求項1又は2に記載のシステム。

【請求項4】

前記第一光源が前記ユーザの少なくとも一つの外耳道を介して光生物学的刺激を提供するように構成される耳内光源の形をとる、請求項1から3のいずれか一項に記載のシステム。

【請求項5】

前記第二光源が周辺光の形で前記第二発光を提供する、請求項1から4のいずれか一項に記載のシステム。

【請求項6】

前記第二光源が前記第二発光を介して前記ユーザの環境を照らすように構成される一つ以上の照明器具の形をとる、請求項1から5のいずれか一項に記載のシステム。

【請求項7】

前記第二発光が黄色バイアスを持つことを前記光センサが検出するとき、前記コントローラが、青色又は白色を持つように前記第一発光を制御するように構成される、請求項2に記載のシステム。

【請求項8】

前記コントローラが前記ユーザと関連する一つ以上のユーザ固有設定を有するユーザプロファイルに依存して前記調整を提供するように構成される、請求項1から7のいずれか一項に記載のシステム。

【請求項9】

一つ以上の処理ユニット上で実行されるときに、

ユーザに非眼光生物学的刺激を提供するように第一光源からの第一発光を制御する動作と、

前記ユーザに眼刺激を提供する少なくとも一つの第二人工光源によって提供される第二発光を制御する動作であって、前記第二発光は眼によって知覚される知覚照明環境を引き起こし、前記第二発光が、前記第一発光から独立して制御され、前記第一発光は、前記第二発光の制御に依存して制御される、動作と、

ユーザの好みを受信する動作と、

前記第二発光が前記ユーザの好みに反することを検出する動作と、

前記第二発光が前記ユーザの好みに反することが検出される場合、前記第二発光により提供される前記眼刺激の前記ユーザに対する影響に反作用するよう、前記ユーザの好みに基づき、前記第一発光を制御する動作と

を実行するように構成される、コンピュータ可読記憶媒体上で具体化されるコードを有するコンピュータプログラム。